

はま Y O U



Vol.
27
2014.夏号



新本館と南館をつなぐ連絡通路が完成しました

CONTENTS

- 理念・基本方針…………… 2
- 新採用医師のご紹介…………… 2
- 2014年度の事業計画…………… 3~4
- 2013年度の診療実績…………… 5~6
- カンゴサウルス賞を受賞…………… 6
- ……………
- 診察室からのお話ー泌尿器科よりー… 7
- 各部署からー放射線科のご紹介ー… 8
- 各部署からー薬局のご紹介ー…………… 9
- 2013年度患者満足度調査結果…………… 10
- ……………
- 接遇研修会の開催…………… 11
- 管理栄養士のおすすめレシピ…………… 11
- ……………

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

泌尿器科外来

診療日 / 月~金曜日
 受付時間 / 午前8時半~午前11時半
 診療時間 / 午前9時~午前12時

担当 : かわしま ひでのり
 : 川嶋 秀紀 部長
 きむら やすのり
 木村 泰典 医長

糖尿病専門外来(予約制)

診療日 / 木曜日
 受付時間 / 午後2時~午後4時
 診療時間 / 午後2時~午後4時

担当 : いがみ ひとし
 : 井神 仁 医師



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にされた医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ
あんしん。
みんなが、
だれでも
いつでも



新採用医師のご紹介



泌尿器科 きむら やす のり
医長 木村 泰典

プロフィール

2000年3月 京都府立医科大学卒業
2000年4月 京都府立医科大学付属病院
2005年4月 京都府立医科大学大学院
2005年10月 大阪大学大学院 特別研究生
2010年3月 京都府立医科大学 医学博士
2011年8月 京都府立医科大学 助教
2013年6月 米国Johns Hopkins大学

2014年4月から泌尿器科に赴任いたしました木村泰典と申します。

出身は地元白浜町で、京都、大阪、アメリカと医師としてのキャリアを積むため、様々な土地を転々として参りましたが、白浜町ほど温暖な気候とおいしい食べ物に恵まれた土地はなく、このたびこれまで培ってきた知識と経験を大好きな故郷のために発揮したいと考え、戻ってきました。

高齢化社会を迎え、がんやお年寄りの方の排尿管理が大きな問題となってきており、特にこれらの分野に果たす泌尿器科の役割は大きいです。当科ではこれまで以上に検査、治療の充実を図り、地域の皆様のお役に立てるようがんばっていきたくと考えています。泌尿器科疾患でお悩みの際はお気軽にご相談ください。



整形外科 あんの しょう へい
医師 安野 翔平

プロフィール

2011年3月 秋田大学医学部卒業
2011年4月 関西電力病院
2013年4月 大阪市立大学医学部付属病院

今年度より白浜はまゆう病院で勤務させて頂いている整形外科の安野翔平と申します。

早いもので、白浜はまゆう病院に勤務を始めて3ヶ月経ちました。働き始めて強く思うことは、「白浜はまゆう病院って、白浜って、めっちゃ素敵なことやな」と言うことです。白浜の風土にも徐々に慣れ、病院内外で接する地域の皆様の優しさや人柄に、日々助けられながら、白浜生活を満喫させて頂いております。職場では、医療行為はスタッフの皆さんの助けがあって始めて成立するということを改めて実感しながら、充実した日々を送らせて頂いております。

今後とも、頼もしいスタッフの方々と協力して、少しでも地域の方々のお役に立てるよう努力致しますので、よろしくお願ひします。

2014年度の主な事業計画

2013年12月、長年の念願であった耐震性を備えた白浜はまゆう病院新本館の開院を迎えることができました。また最新設備を備えた病院として、療養環境の向上と機能充実を図ることができ、今後とも地域に寄り添った病院運営と健全経営に努め、患者・利用者の皆様から更なる信頼を得られるように努力してまいります。

昨年末以来、新本館移転に伴う給食委託業者選考過程における不祥事に関して、関係者、利用者の皆様、町民の皆様に変なご迷惑とご心配をお掛けし、また、白浜はまゆう病院への信用・信頼を損なわせたことを深くお詫び申し上げます。今後このような事態を引き起こさないような運営を心掛けるとともに、今一度開院の初心に立ち返り、地域が求める医療、社会貢献できる医療機関としての役割を果たしていきます。

駐車場等の整備を一日でも早く完成させ、利用者の皆様への負担の軽減を図り、安全で耐震力のある病院として、災害支援病院・救急病院としての機能をさらに高め、安心・安全のために医療提供体制の充実を図ります。

1. 公益事業

- (1) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」を財団内外に周知し、各事業においてその実践に努めます。
- (2) 公益財団法人に相応しい運営基盤の整備、財政基盤の強化、健全経営のための組織運営の確立に努めます。
- (3) 「骨リウマチ疾患探索研究所」で関節リウマチや骨粗しょう症の治療薬の臨床研究を積極的に推進します。
- (4) 白浜町及び地域の医療福祉ニーズの把握に努め、特に高齢化や過疎化が進む地域における地域医療・福祉のサービス提供体制について研究します。
- (5) 「院内研究発表大会」を開催し、医療・ケア・サービスの質の向上に努めます。
- (6) 「健康教室」を定期的に開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。
- (7) 大規模災害の発生に備え、各施設の防災体制を整備し、他の医療機関等との連携を図ります。

2. 白浜はまゆう病院

- (1) 駐車場整備工事の完成、渡り廊下を整備し本館と南館を接続し、診療機能、療養環境の向上を図ります。一期事業に組み込んでいない温泉リハビリ施設等を二期計画として2014年度で計画を検討します。
- (2) 医療機関の機能強化と連携、在宅医療の充実を図るため、介護療養病棟25床の地域包括ケア病棟への転換を検討します。
- (3) 医療情報連携保全基盤推進事業への参画を継続し、和歌山県立医科大学や近隣の中核病院と診療情報を共有し、災害時のデータ保全や平時の近隣医療機関との診療情報の共有を図ります。
- (4) 医療サービスの質の改善に努め、ホスピタリティの高い病院づくりの推進に努めます。
- (5) 医療人材の確保と育成に努めます。
 - ① 医師・薬剤師・看護師・リハビリテーションセラピストの採用に努めます。
 - ② 教育・研修を通じた人材の育成 研究発表の奨励 専門資格者の養成を行います。
 - ③ 管理・監督職研修を行ない、経営職の育成に努めます。
- (6) 主要診療機能の拡充を図り、消化器疾患、呼吸器疾患、関節疾患、神経難病疾患、泌尿器疾患、リハビリテーション、リウマチ疾患の外来診療の充実に努めます。
- (7) 救急医療体制の再構築、へき地医療支援の継続に努めます。
- (8) 医療安全対策および院内感染対策の充実を図ります。
- (9) 財団内施設間の連携、地域医療連携の推進に努めます。
- (10) 地域医療連携の推進と医療活動を通じた地域への貢献に努めます。
- (11) DPCの運用と医療標準化の推進に努め、クリニカルパスの拡大と適用率の向上に努めます。
- (12) 病院機能評価認定更新後の継続的な業務改善活動の推進に努めます。
- (13) 危機・災害時に強い病院づくりを推進し、DMAT（災害派遣医療チーム）を核にした災害医療体制の強化を行います。



3. 西富田クリニック

万全な医療を提供し、安心してかかれる心やさしいクリニックづくりに努めます。



- (1) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努めます。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所等との協力連携をさらに深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (4) 患者動向や診療報酬改定の内容を検証し、的確な対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定に努めます。

4. 鮎川診療所

地域に密着し、広く利用していただける診療所運営を行います。

- (1) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぼぼと連携し、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」、「時間外対応加算」の体制を充実し、在宅医療の提供に努めます。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財団施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
- (4) 在宅医療の一環として訪問診療を行い、地域に密着した診療所運営を目指します。



5. 日置診療所

白浜はまゆう病院と連携し、地域の住民が気軽に受診できる診療所運営を目指します。



- (1) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し医療面での支援協力を積極的に実施します。
- (2) 通院困難者等には自動車での送迎を行い、必要な支援に努めます。
- (3) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぼぼと連携し、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」、「時間外対応加算」の体制を充実し、在宅医療の提供に努めます。
- (4) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、診断・治療の向上に努めます。

6. 三舞診療所

白浜はまゆう病院と連携し、地域の住民が安心できる診療所運営に努めます。

- (1) 白浜町保健事業の主旨を踏まえ、診療所における保健医療を充足し、地域住民の健康増進に寄与します。
- (2) 地域の人口推移を鑑み、外来診療を週3回から週2日に縮小します。
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、診断・治療の向上に努めます。

7. 川添診療所

「理念」に沿い、川添地区に根ざした医療機関として、質の高い医療サービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを目指します。

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかれる診療所づくりに努めます。
- (2) 地域の人口推移を鑑み、外来診療を週4.5日から週4日に縮小します。
- (3) 白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、地域住民が安心できる診療所運営に努めるとともに、電子カルテシステム・遠隔画像診断システムの活用に努めます。
- (4) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力を努めます。



8. 訪問看護ステーションたんぼぼ

病気や障害を持った人が、住みなれた地域やご家庭で、その人らしく療養生活が送れるように看護ケア・リハビリを提供し、予防から看取りまでの療養生活を支援します。

- (1) 積極的な訪問活動を推進し、利用者の拡大に努め訪問看護、訪問リハビリを通じて経営の向上を図ります。
- (2) 他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの質の向上と円滑な支援に努めます。
- (3) 利用者のニーズを把握し、より質の高い看護・リハビリの提供に努め、利用者との信頼関係を深めます。

9. 骨リウマチ疾患探索研究所

- (1) 大阪市立大学医学部に開設された「高齢者運動器変性疾患制御講座」特任教授の着任に伴い、財団内に「骨リウマチ疾患探索研究所」を設置しています。
- (2) 関節リウマチ及び骨粗鬆症の治療薬の市販後の臨床研究を行い、海外で実施された臨床研究の結果が日本人に対しても効果を発揮しうるか独自のコホート研究を行うことを目的とした事業を推進します。
- (3) 患者と医療従事者に対して、リウマチ疾患に対する知識・医療の啓蒙活動に努めます。

《 2013年度の主な検査と手術 》

検 査		
検査名	件数	内容
胃内視鏡検査	2,615	口または鼻からカメラを挿入して胃の中の状態を検査する。一般的に言われている『胃カメラ』の事
大腸内視鏡検査	234	肛門からカメラを挿入して、直腸・S状結腸・下行結腸から上行結腸及び盲腸までの状態を検査する
膵胆系内視鏡検査	13	十二指腸までカメラを進め、その先は細いカテーテルを膵管や胆管に挿入し、造影する
気管支鏡検査	22	麻酔を使い、口から気管支鏡を挿入し、のどの奥をとおり気管支を検査する

手 術		
手術名	件数	内容
観血的骨接合術	46	骨折部を直接プレートやネジ、釘等で固定する
大腸ポリープ切除術 (内視鏡下粘膜切除含む)	46	大腸内視鏡を使い、有形性の病変に対し、ループ状の針金(スネア)に高周波電流を流し切除する
人工膝関節全置換術	34	大腿骨、脛骨を人工関節の形状に合わせて切除し、人工関節を設置する
人工股関節全置換術	20	大腿骨の骨頭を切除し、骨盤側の受け口(臼蓋)の表面を削り、各々人工関節を設置する
関節形成術	16	痛んだ関節をなめらかにしネジやプレートで固定し、正常な関節にもどす
腹腔鏡下胃・大腸切除術	15	腹部に5mm～1cmの穴を空け、腹腔鏡(カメラ)と手術道具を挿入し、モニターに映し出されている映像を見ながら胃又は大腸を切り取る
胃瘻造設術	13	胃内視鏡を使い、腹壁と胃壁に小さな穴を開けて、栄養補給を行うチューブを固定する
内視鏡下異物摘出術	12	内視鏡を使って消化管内にある異物(胃内のアニサキス(虫)・食道内の入れ歯や菓の包装材等)を除去する
ヘルニア根治術	9	人工物(メッシュシート)を使い、ヘルニアの穴にふたをし、さらに腹壁の補強をする
人工骨頭置換術	9	大腿骨頭を切除し金属あるいはセラミックでできた人工の骨頭を設置する。人工股関節置換術とは違い、骨盤側は置換しない
腹腔鏡下胆のう摘出術	8	腹部に5mm～1cmの穴を空け、腹腔鏡(カメラ)と手術道具を挿入し、映像を見ながら胆のうを摘出する
胃ポリープ切除術 (内視鏡下粘膜切除・粘膜下層剥離含む)	7	上部消化管内視鏡を使い、病変の粘膜下に薬剤を注入し、ループ状の針金(スネア)やナイフに高周波電流を流し切除する
肩・肘人工関節全置換術	6	肩、肘を人工関節の形状に合わせて切除し、人工関節を設置する
内視鏡的止血術	6	消化管からの出血部位を内視鏡下に確認し、鉗子孔からの操作で、電気メス、マイクログリップ、レーザー、止血クリップ等により止血する
尿管ステント留置術	2	尿道口から膀胱まで内視鏡を挿入し、膀胱内の尿管口からワイヤーを挿入。尿管の中に細いカテーテルを留置し、尿の通り道を確保する
開腹胃切除・全摘術	5	開腹により胃の一部または全てを摘出し、切除部を十二指腸もしくは小腸と縫い合わせる
開腹大腸切除術	4	開腹により大腸の一部を切除し、腸と腸を縫い合わせる

《 クリニカル・インディケーター 》

クリニカル・インディケーターとは？

医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。

当院でもいくつかのクリニカル・インディケーターを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

患者数	外来延数	74,918	救急搬入患者	搬送患者数	840	
	外来1日平均	255.7		救急入院総数	237	
	入院延数	92,524		救急患者入院率	28.2%	
	入院1日平均	253.5		CT	2,696	
平均在院日数	一般病棟	20.5	検査件数	MRI	1,222	
	回復期リハビリ病棟	93.6		超音波(腹部・その他)	3,203	
	医療療養病棟	199.5		心臓超音波	342	
	介護療養病棟	109.2		MRSA平均管理者数	14.99	
病床利用率	一般	本館4階	91.6%	感染関連 (人/日)	疥癬平均患者数	0.88
		本館5階	87.8%		結核平均患者数	0
	回リハ	南館5階	95.2%	回復期リハビリ病棟	在宅復帰率	78.4%
		医療療養	南館3階		96.2%	重症患者比率
	介護	本館3階	96%			
		南館4階	99.1%			

「カンゴサウルス賞」を受賞

看護職のワーク・ライフ・バランス (WLB) は、2010年度から、日本看護協会と都道府県看護協会とが協働し、看護職が働き続けられる職場作りの為の活動を全国的に展開することを目的として始まりました。白浜はまゆう病院では、2011年度から和歌山県看護協会主催のWLB推進事業に参加し、「看護職のWLB指標調査」をもとに、労働環境の改善に向けたアクションプランを立て、課題解決・ゴール達成に向けた計画を立て「働き続けられる職場づくり」に努めてまいりました。

今回、3年間継続して取り組んだ医療施設として認められ、日本看護協会から「カンゴサウルス賞」の表彰を受けました。

これからも、看護職が、仕事と子育てや介護、自己啓発等の生活との調和を取りながら、働き続けられる職場環境作りの実現に向けて取り組んでまいります。



診察室からのお話



～尿のトラブルで困っていませんか?～

泌尿器科医長 木村 泰典

[トイレが近い]ことを歳のせいとあきらめていませんか? でも、それは病気かもしれません。

過活動膀胱という病気をご存知でしょうか? 膀胱が勝手に縮んだり、過敏な働きをするために、尿が十分たまってないうちに、急にがまんできない尿意が起こる病気です。ある調査では日本人の40歳以上の女性のおよそ10人に1人が、過活動膀胱の症状を経験しており、この中でおよそ半分の方が切迫性尿失禁を経験していました。原因は脳や脊髄疾患などの後遺症で起こる神経系のトラブルや、出産や加齢によって、子宮、膀胱、尿道などを支えている骨盤底筋が弱くなった場合など様々あります。

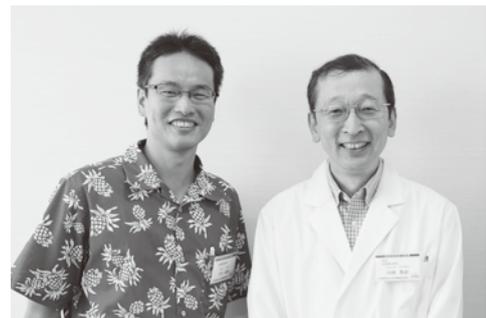
一方、高齢男性で過活動膀胱の原因として最も多いのは前立腺肥大症です。前立腺は膀胱の下で、尿道を取り囲むように存在する臓器で、前立腺が大きくなったり、前立腺の筋肉が過剰に縮まって尿道が圧迫されるために、[尿が出にくい]といった症状が起こります。尿道の圧迫が続くと、膀胱が勝手に縮みやすくなるために、[トイレが近い]、[もれそうだがまんできない]などの症状も起こってきます。

その他にも尿のトラブルの原因は、がん、感染症、神経性頻尿、結石などがあります。泌尿器科診察室では問診、尿検査、超音波検査を中心とした簡単な検査で、トラブルの原因をしぼりこみ、その原因に応じた治療法を提案しています。これらの検査のほかには、必要に応じて血液検査、膀胱鏡検査、X線検査などが行われることがあります。

過活動膀胱の症状はたいていの場合、薬で改善することができ、[膀胱訓練]や[骨盤底筋訓練]というトレーニングも効果があります。原因が前立腺肥大症の場合にも、薬による治療や手術による治療など、症状を緩和させる選択肢は多数あります。

尿のトラブルは、多くの場合、薬で改善することができますし、またそれらの症状が前立腺がんなどの重大な病気によるものである可能性もあります。まずは原因となる基礎疾患をしっかりと調べ、対策を立てることが重要です。

元気でいきいきとした生活を送り、夜もゆっくり休めるように、尿のトラブルを抱えている方は[歳のせい]とあきらめず、ひとりで悩まずに早めに泌尿器科専門医に相談してください。



木村医長と川嶋部長

2014年7月1日より、川嶋 秀紀泌尿器科部長が着任し、泌尿器科常勤医師が2人体制となりました。今まで以上に充実した診療体制で、患者様のニーズにこたえてまいります。

かわしま ひでのり
川嶋 秀紀 泌尿器科部長

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本泌尿器科内視鏡学会認定医
日本内視鏡外科学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医

きむら やすのり
木村 泰典 泌尿器科医長

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本泌尿器科内視鏡学会評議員
日本がん治療学会認定がん治療専門医

各部署から

～放射線科のご紹介～



放射線科は、新本館の一番奥にあります。画像診断部としての位置づけで、臨床検査室と内視鏡検査室を含めた画像系に関しては、画像診断受付が窓口となっております。



正面玄関から一番奥にあります

移転後は、64列CT装置への更新、一般撮影室も2室体制と画質の向上・待ち時間の短縮に努めております。

また、マンモグラフィ装置の更新も行いました。

この装置は、以前の装置と比べて少ない放射線量にて高画質の画像が得られ、マンモグラフィ検査には苦痛である乳房の圧迫も軽減された装置となっております。



CT装置(Brilliance64)



マンモグラフィ装置
(乳房撮影装置)

読影に関しては、CT・MRI装置の画像は京都大学放射線診断教室が発起した画像診断センターにて専門的な読影を行っております。マンモグラフィにおいても専用の画像診断装置での読影を実施しております。

診療放射線技師は、男性5名と女性1名の計6名にて日常業務に就いています。

暑苦しい男の中で女性技師がいることは、患者さまにも親しみを持たれ、科内でも一服の清涼剤になっています。

チームワークを保ち、円滑な業務の遂行に努めています。



放射線科スタッフ

～薬局のご紹介～



薬局スタッフ

薬局では現在、5名の薬剤師と3名の調剤助手が、調剤、製剤、医薬品情報の管理と発信、医薬品管理、薬剤管理指導業務など様々な業務を分担して「医薬品の適正使用」に貢献できるように頑張っています。

患者様のお薬について、最適な薬剤が選択され、正しく使用されているか、期待通りの治療効果が得られているか、あるいは副作用が出ていないかなどをコントロールすることが薬剤師の仕事です。お薬のことなら、どんなことでもお気軽にご相談下さい。

●薬剤管理指導業務●

入院患者様に対する業務で、主治医からの依頼に基づき、お薬の効果、飲み方、副作用、アレルギー、お薬の保管方法、健康食品、サプリメントなどについての説明や、お薬の履歴の確認や処方された薬や注射薬の内容が適切かどうかの確認などを行っています。

主に入院患者様への注射薬の払出し（処方通りに注射薬をセッティングして発行する）を行っています。注射薬は医師の処方入力により自動的に注射処方箋が発行され、安全性と効率性を高めるため注射薬自動払出機により、患者様のお薬を一人分ずつ一回投与分ごとに専用トレー内へ自動セッティングされた後に、薬剤師が確認し病棟に搬送しています。



薬剤師による確認



注射薬自動払出機

●医薬品情報業務●



医薬品が適正に、また安全に使用されることを目的として、医薬品に関する情報を収集、整理して、医療スタッフや患者様に提供しています。

また、薬剤師の増員とともにTPN、抗がん剤の混合調整も行っていきたいと考えています。

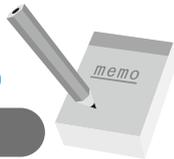
外来

入院

健診

アンケート

～患者満足度調査結果～



2014年2月、外来・入院・健診の3部門において利用者みなさまにアンケート調査を実施し、合計746名の方から貴重なご意見をいただくことができました。誠にありがとうございました。

一部ですが、この場をお借りしてみなさまから寄せられたご意見をご紹介します。また、院内には「ふれあいの箱(ご意見箱)」を設置しておりますので、引き続きお気づきの点がございましたらぜひご意見をお寄せください。

外来

(1) 予約でも15分～20分待たされたのでこれからはできる限り早くよろしくお願いします。

大変ご迷惑をおかけしております。予約を希望される患者様が多い場合、予約枠いっぱいまで予約を入れざるを得ず、また診察や処置の内容によっては予定していた診察時間を超えてしまうことがあり、待ち時間が長くなっております。

長時間お待たせしていることは大変心苦しく思っておりますが、患者数と診察時間のバランスを考慮した予約に努め、できるだけ待ち時間を短縮できるように取り組んでまいりますのでご容赦いただければと存じます。



(2) 医師のなかには大変不満を感じる人がいる。名前を書きたいががまんします。

ご不快な気持ちにさせてしまいまして誠に申し訳ございません。ご指摘のようなことがないように医局会を通じて医師に通達し、反省の材料とさせていただきます。また、改善につなげたいと存じますので、ぜひ具体的にご指摘いただければ幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

(3) 各科がどこにあるか分かりづらいと思う。検査室まで移動するのは迷路のよう。順路のメモ等がほしい。検査が終わったあと、どこの診察室へはいるのか口答だけではなくしにメモでもしてもらえれば…。患者は検査後、頭の中はからっぽです。

現在も検討を重ねておりますが、分かりにくいときはスタッフにお気軽にお声をかけていただければご案内させていただきます。各部署の連携をしっかりと取り、分かりやすく案内させていただけるよう努力していきます。

(4) 全部が全部ではないけど言葉にとげがある人がいる。

申し訳ございません。相手の立場に立った優しくていねいな接遇ができるよう努めます。

(5) 診療科目によっては、毎日ないものがあり不便である。

ご迷惑をおかけしております。診療科の充実を期すことができるよう、引き続き医師確保の対策を積極的に進めてまいります。



入院

(1) 最近個人の名前を付けている職員が少なくなっていると思う。分かりにくいので必ず付けて下さい。

名札を付けたいのですが、介護病棟では患者様を抱えて体位交換するなどかがむ姿勢が多く、名札が患者様の顔に触れる等の心配があるため、現在マナー委員会で検討させていただいております。

(2) いつもお世話になり大変ありがとうございます。感謝致しております。看護職員の対応はいい方もおれば、もう少し気がついていただければと時々思う事があります。

接遇、気配りについて、定期的に勉強会や意見交換を行っていますが、まだまだ配慮に欠ける面がありご迷惑をおかけしています。今後もスタッフ同士お互いに注意し合い、改善に努めたいと思います。

健診

(1) 検査結果、特にレントゲン等はモニターで説明願えればありがたいです。

医師によってはモニターを用いて説明をしている場合もありますが、個々の診察スタイルによりそうでないこともあるかと存じます。モニター画面を参照しながら分かりやすい説明を行うように努めます。

(2) これからもドックを受けていくと思うので、より良いドック・健診が出来るようにお願いします。健康を維持できるようにお願いします。

正確、迅速、思いやりをモットーに健診業務を続けて行きたいと思っております。ご意見ありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



みなさま、貴重なご意見を多数お寄せいただき誠にありがとうございます。

接遇研修会を開催

毎年行っている外来・入院・健診アンケート調査や患者様より寄せられる声で、接遇に関するご意見をたびたび頂戴しております。

今年度は、患者サービス広報委員会が主催となって、2014年5月13日、院内会議室にて株式会社ケーエスケー営業支援部 黒岩一起氏を講師にお招きし、病院職員全体で研修会を行いました。

日々の業務の多忙さの中で疎かになりがちですが、より良いサービスを提供できるように接遇の向上を目指して、今後も定期的に研修会を行っていききたいと思います。



85名の参加となりました

私たちが おすすめする カラダに おいしい とっておき レシピ 第19回

茄子とピーマンのみそ炒め

お肉を少なく、野菜を多く使うことでカロリーを抑えることができます。

豚肉にはビタミンB1が含まれており、代謝を促進し夏バテを防ぎます。



管理栄養士
後藤 拓志

茄子とピーマンのみそ炒め

材料《1人前》	〇調味料〇
茄子……………80g	みそ……………6g
青ピーマン……20g	しょうゆ………3g
豚ひき肉………30g	塩……………0.3g
サラダ油………6g	砂糖……………3g
	酒……………5g
	出汁……………5g

栄養価
(1人分)

エネルギー…177kcal 蛋白質…7.8g
脂質…11.1g 塩分…1.4g
食物繊維…3.1g



作り方

- ①茄子を乱切りにする。水に漬けアクを取り、水気をきる。
- ②ピーマンは種を除き、乱切りにする。
- ③調味料を合わせておく。
- ④フライパンで油を熱し、豚ひき肉、茄子を炒める。
- ⑤茄子に軽く焼き色がついてきたら、ピーマンを加えて炒める。
- ⑥熱が通ったら調味料を加えて、軽く炒めたら完成。皿に盛り付ける。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	山崎 幸茂	佐藤 啓	伊藤 揚荘	辻 淳	松本 潤	高村 竜一郎
		午後	伊藤 揚荘	赤松 功博	松本 潤	高井 恵美	赤松 功博	
	内科2(再診)	午前	赤松 功博		松尾 晃次	松尾 晃次	山崎 幸茂	
		午後	中村 信男			井神 仁	山崎 幸茂	
	内科3(再診)	午前			赤松 功博			
		午後						
	内科4(再診)	午前		齊藤 豊		佐藤/中川	辻 淳	
		午後	松本 潤	木下 正博	佐藤 啓	中川 武正		
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚荘	谷口 友志	伊藤 揚荘	谷口 友志	
		午後	辻 淳		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科	午前	当番医	寒川 玲	山里 有三	寒川 玲	山里 有三	当番医	
脳神経外科	午前				中北 和夫			
整形外科	午前	安野 翔平	安野 翔平	小池 達也	安野 翔平	岩切 健太郎		
装具外来	午前		装具外来		装具外来			
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
皮膚科	午前						県立医大	
	午後		県立医大					
眼科	午後			芦田 淳				
耳鼻咽喉科	午後				県立医大			
循環器外来	午後	中村 信男						
呼吸器外来	午前			松尾 晃次	松尾 晃次			
アレルギー・呼吸器専門外来	午前				中川 武正(第2・4)			
	午後				中川 武正			
腎臓内科	午前		齊藤 豊					
泌尿器科外来	午前	木村 泰典	木村 泰典	木村/川嶋	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
泌尿器科専門外来	午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀		
神経内科・ リハビリテーション専門外来	午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
	午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来	午前		小池 達也		小池 達也			
膠原病・糖尿病専門外来	午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘			
糖尿病専門外来	午後				井神 仁			
消化器専門外来	午前	山崎 幸茂		谷口 友志		山崎/谷口		
	午後			谷口 友志		山崎 幸茂		
循環器・高血圧専門外来	午前						有田 幹雄(月2回)	

※木曜日午後 内科4診…第1・3・5(佐藤)、第2・4(中川) ※泌尿器科専門外来(火曜日)泌尿器癌相談外来、(木曜日)神経因性膀胱女性泌尿器科
 ※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承ください。 2014.8.1現在

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30 9:00~12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月~金)	13:30~16:30 14:00~17:00	
循環器外来(月)	14:00~16:30	
皮膚科(火)	13:00~15:45 13:30~16:00	
糖尿病外来(火)	14:00~16:00 14:00~16:00	
眼科(水)	12:00~14:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30 14:30~17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30~11:00 9:00~12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682